

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

毎月第3日曜日は「家庭の日」

家族みんながそろって、
ともうちとけた楽しい会話や
気持ちのよい汗を流すなど、
家族団らんの一日を
過ごしましょう。



日野町青少年育成会

つながろうつながげよう生涯学習でまちづくりの輪 第10回公民館まつり

11月12日から16日までの5日間、第10回公民館まつりを開きました。

日ごろから生涯学習活動に取り組んでいる個人や団体の発表の場を目的とし、25の個人や団体による作品などの展示のほか、13の体験教室などの催しを行い、延べ約600人の皆さんに来館いただきました。

【11月12日】

オープニングセレモニー
黒坂小学校児童による元気な傘踊りでにぎやかに開会となりました。

ふれあいコンサート

日野高校の先生の協力で、今年には公民館で練習しているコーラスグループアザレアとのジョイントコンサートをいたしました。生の音色に参加者は感動しました。最後には会場全体で町民歌



癒やしの音色響かせる

を歌い、町制50周年にふさわしいコンサートになりました。

【11月13日】

絵手紙教室

公民館で定期的に研修している日野町墨彩会の協力を得て、絵手紙教室を開きました。参加者は「これまで取り組んでみたかったが、なかなかきつかけがなくて楽しみにしていた」と何枚も挑戦していました。

この日は、ほかに男性の料理教室、お菓子づくり教室がありました。

【11月14日】

陶芸教室

公民館で定期的に研修している日野町陶芸グループの協力で陶芸教室を開きました。毎回参加する人は慣れた手つきで作品を作りましたが、初

めての参加者は、「陶芸に触れるいいきっかけになった」と、来年からグループの研修に参加するということです。このほか、グラウンドゴルフ大会、手作りおもちゃづくり体験がありました。

【11月15日】

お楽しみ抽選会

今年は、18の団体・個人の皆さんに計240個の景品を提供いただき、抽選会を行いました。

景山町長、山本教育長、若林公民館運営審議会議長の抽選により、大いに盛り上がりました。

ほかに七宝焼教室、日赤奉仕団救急法講習会、図書館おはなし会がありました。

公民館は人が集い、そして学ぶ場です。みなさん、公民



力作の数々を展示

城下町黒坂を学びながら歩きました

11月12日、第1回史跡めぐりウォーキングを開きました。今回は、城下町黒坂五ヶ寺めぐりコースを設定しました。「黒坂鏡山城下を知るう会」に協力いただき鏡山城址を見学、泉龍寺では因幡二十土について話を聞き、光徳寺では小早川好古画伯の宗教画について説明を聞きました。正法寺、光明寺を回り、最後に光西寺で小早川好古画伯の法然上人一代記について説明を聞きました。米子からも参加があり、普段見ることのできないものを見学でき、感動したウォーキングとなりました。



屋外のテント村にも多くの出店

館に来てみて、作品や活動を見てみて、そして触れてみてください。きつと楽しいことに出会えるはずですよ。

生田駿哉さんに最優秀賞

日野町青少年育成会「家庭の日」作品募集事業表彰式

町青少年育成会（生田英明会長）では、今年度から始めた小学生を対象とした「家庭の日」に関する絵画、作文、写真の作品募集事業の表彰式を11月15日に行いました。

絵画に8作品、作文に13作品、写真に3作品の応募があり、家庭や家族に対する思いや出来事を知ることができました。入賞した作品の中で最優秀賞を受賞した、黒坂小学校5年の生田駿哉さん（下菅）の作文を紹介します。

僕の家族

黒坂小学校5年 生田 駿哉

夏休みを振り返ってみると、僕は家族で何かをしたり、どこかにでかけたりした事がありありませんでした。それはなぜかというと、母さんと父さんの休みが合わないからです。

父さんは自営業をしていて、ビニールハウスで花だん苗を栽培しています。暑い日が続くので、苗に毎日水をやらなければなりません。母さんは、むこの老人ホームで働いています。母さんはパートだけでなく、日曜日も仕事の日があります。お盆も仕事に行かないといけません。父さんととは休みが合いません。父さんは自営業だからいつでも休みがあると

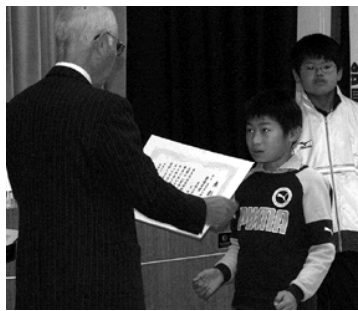
思っても知れないけど、父さんの仕事は天気によって左右されるのでなかなか大変です。

それに、父さんはもう一つ仕事を持っています。それは、自宅待機の警備の仕事です。その仕事は1週間交代なので、当番の週は外出できません。警備の仕事は、呼び出しがかかるので、昼でも夜でも、ハウスで仕事をしていても行かなければいけません。

父さんは、いつもいそがしく仕事をしています。天気も雨でも仕事があり、秋に出荷する花の用意をしなければいけません。それには、いろいろな準備があり、土を作ったり、種をまいたり、植えかえたりすることがあります。朝から夕方まで暑いハウスの中で仕事をして、くたくたにな

なって帰ってきます。父さんは、日に焼けて真っ黒です。服も汗でドロドロでつかれているはずなのに、夕ご飯を待っている間、ワンセグを見せてくれます。僕は、つかれているのにすごいなとも思っています。

そんな父さんだけど、夏休みの初めごろ、父さんは1日だけ仕事を休んで、夢みなどタワヘ連れて行ってくれました。なかなか見られない大きな海ガメやサメ、きけんな魚などいました。ヒトデを手でさわりました。重たかったです。ゴツゴツしていました。弟はウミガメの卵を見て喜んでいました。エレベーターでんぼう台まで行きました。広い海、遠くにある島、山が見えました。鬼太郎のおぼけやしきへ入りました。こわかったけど出られました。帰るまでに、みんな



表彰を受ける生田さん

なでソフトクリームを食べて帰りました。

父さんと出かける日はあまりないけど、父さんがたまにとつぜん「ジャスコに行くぞー。」と言って、連れて行ってくれるので、僕はそのことがとてもうれしいです。それに、家族全員で出かけることができなくても、母さんが時々連れて行ってくれます。この間、海水浴や祭りに連れて行ってくれました。海では、弟の龍二と深いところで浮き輪で泳いだりしました。父さんがいない時は、僕が荷物を運んだりします。祭りでは、花火を見たり、くじを引いたりして楽しみました。その他にも、母さんが仕事の時は、僕が弟の龍二のめんどうを見ます。弟は自分のしたいことをするので、僕は振り回されて大変です。でも、働いている両親のかわりに、僕が弟のめんどうをみないといけないからです。

父さんは、おこるととてもこわいです。母さんは、いつもガミガミとおこっています。「宿題しなさい。」が口ぐせです。弟はナマイキだけど、五才なのでかわいいです。でも、僕はそんな家族が大好きです。

第8回おしどり学園 「地デジ対応はお済みですか」

11月20日、第8回おしどり学園を開きました。

今回のテーマは、「地デジのとびら」と題し、総務省鳥取県テレビ受信者支援センター（デジサポ鳥取）部長の陶山史朗さんの講演を行いました。

陶山さんは、元山陰放送アナウンサーという経歴の持ち主。分かりやすく地デジについて説明されました。当日は無料相談も行われ、地デジへの今後の対応について相談を受ける学園生もいました。

おしどり学園のご案内

学園生以外の方も気軽に学んでみませんか

日時 1月22日（金）午前9時30分～
場所 町公民館
内容 「町内の歴史・史跡について」
その他 当日は町営バスを臨時運行します。
詳しくは町公民館までお問合せください